

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 712 号  
2020年10月1日  
発行  
アスカ工業株式会社  
〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

## わが歩みと未来への提言(上)

アスカ工業株式会社

取締役会長 天 野 久

「御年94歳になられますが、社会に出た当時の状況を振り返っていただけますか。」

「戦前はまだ子供であり社会のことまで分からないが、戦争中は今とは比較できないほどの混乱だったことを覚えている。戦後になってからようやく世の中に秩序が生まれてきた。個人的には東京物理学校を卒業してすぐに、愛知県三河地区で繊維業を営んでいた実家の仕事を手伝い始めた。多忙な時を過ごし、困難なことも多々あったと思うが、辛いことは記憶から薄れ非常に楽しい時を過ごしたという思い出だけが残っている。思えば大戦以降、日本は長きにわたって戦争がなかった。非常に幸せな時代を過ごせたと感謝している」

「繊維業からアルミニウム二次合金事業に転換したきっかけはどのようなことだったのでしょうか。」

「1955(昭和30)年当時、アルミニウム国内生産量は非常に少なかった。だが、将来性が高い金属との評判を聞き、惚れこんだことがきっかけとなった。運よくわれわ

れの予想を超える規模で業界は発展していった。正直これほどまでの規模になるとは考えてもいなかった。当時を振り返ると日本経済自体もそのような自信を欠いており、がむしゃらに仕事をして発展してきた。われわれはアルミニウムを手掛けることができて本当に幸せだったと感じている」

「当時はリサイクルという概念は一般的でなかったと思います。なぜ、繊維からアルミニウムのリサイクル産業に円滑に業態転換ができたのですか。」

「当時、三河地区では古い繊維から新しい糸を造る『ガラ紡』という産業があった。織

維業を営んでいたためリサイクル産業の重要性をすでに理解していたことが大きかった。アルミニウム二次合金業界に飛び込む大きなヒントになったと思う」

「仕事で困難なことはありましたか。」

「今、振り返ると立ち直れないほど苦しいと感じる時はなかった。他の産業では厳しい時代を経験したところが多いが、われわれの業界は非常に恵まれていた。数字で



比較しているわけではないが他産業よりも需要が順調に増加してきたのではないだろうか。現在ではリサイクルの重要性はますます高まってきており、成長性のある産業だと今でも感じている」

－国内のアルミニウム二次合金の発展に至る歩みで印象的だった出来事はありますか。

「当初は国内の自動車生産などほとんどなく、自動車向けのアルミニウムの供給もほぼゼロだった。当時は、日本の自動車がこれほど売れるようになるとは思ってもいなかった。また、自動車産業も他の産業も小さな会社ばかりだった。だが、日本経済の発展とともに自動車生産が増加していくにつれ爆発的に自動車向けのアルミニウムの供給量が増えたと記憶している。また、アルミ需要という点ではアルミサッシの普及が急速に進んだことも印象に残っている。だが、改めて振り返れば需要の波は決して凸凹しておらず。社長在任中は緩やかに成長を続けてきたとの印象がある」

－現在、新型コロナウイルス禍で世界経済は大きな落ち込みを見せています。過去の不況時のアルミ合金業界はどのようなであったのでしょうか。

「オイルショックなどを経験したが、他産業と比較すれば大きな影響はなかったと記憶している。アルミニウム精錬業の国内撤退などの動きはあったが、われわれが生産を止めるようなことは一度もなかった。アルミニウム二次合金需要としては長い目でみると業界が壁際まで追い込まれるほどの事態はなかったと感じている。戦中の混乱期や繊維業界の激変を経験した身としては、アルミニウム二次合金業界はこれまで

も、これからも成長が期待できる産業であると確信している」

－オイルショックを発端としたアルミニウム精錬業の国内撤退を振り返ってみると、当時はどのような思いでしたか。

「日本人は戦争の記憶から国産にこだわる声が多かった。だが、安く造れるところで製造するのが世界の潮流であり、長い目でみるとそれで良かったと考えている。その結果として安定して安いアルミニウム地金を材料に用いることができ、自動車や建築向けでアルミニウムが大量に普及するきっかけとなった。その経緯があるからこそ日本のアルミニウム二次合金産業は世界で力を得ることができた」

－アルミニウム二次合金業界が今後も引き続き成長していくためにはどのようなことが重要と認識されますか。

「まずは価格を抑える努力をすることが大切だ。そのため苦勞を厭わず、悩みぬき考えを重ねていくことが重要だ。それを怠れば他産業のように仕事なくなる時を迎えてしまうかもしれない。努力と考えることを決して怠ってはいけない」

－皆さまのおかげで弊紙も2万号を迎えることができました。

「長くにわたり業界に貢献されてきた貴紙に敬意を示したい。当時の日本を振り返ると現在の人々は戦争に向けて混乱期にあったと思うかもしれないが、幼かった私にとっては今よりよほど静かな時代と感じた。それは半面、騒げば逮捕されてしまうという一面があったためかもしれない。今は騒がしい時代だが何でも言いたい放題にできる自由がある。そのありがたさを忘れてはならない」

## 7月のアルミ合金輸入量 低調続く 対中輸入81%減少

財務省発表の7月の貿易統計によると、中国からのアルミ合金輸入量は前年同月比81%減の6,290トンで10ヶ月連続して前年実績を下回りました。自動車生産の減少で3ヶ月連続して減少率が拡大しました。

マレーシアは62.2%減の458トンで2ヶ月ぶりのマイナスとピーク時の1割以下に減りました。インドネシアは66.2%減と3ヶ月連続のマイナス。堅調でしたスペインも92.5%減の224トンと2ヶ月連続して前年実績を下回りました。ナイジェリアは87.6%減の929トンで2ヶ月連続のマイナス。サウジアラビアは74.8%減の109トンで7ヶ月連続して前年実績を下回りました。

ロシアからは51.3%減の10,187トンで2ヶ月連続のマイナス。ウクライナは91%減の100トンで2ヶ月ぶりのマイナス。ロシアやウクライナの数字には、二次合金原料のベースメタルも多く含まれます。

### 7月 アルミ合金 輸入量

国名	重量(トン)	前年同月比
中国	6,290	(-81.0%)
マレーシア	458	(-62.2%)
インドネシア	121	(-66.2%)
スペイン	224	(-92.5%)
イタリア	0	
ナイジェリア	929	(-87.6%)
ロシア	10,187	(-51.3%)
ウクライナ	100	(-91.0%)
その他	22,250	
合計	40,559	(-63.0%)

### 6月生産

### アルミ鋳物 ダイカスト

### 減少率 改善

経済産業省がこのほど発表した6月の生産動態統計によると、アルミ鋳物の生産量は前年同月比53.3%減の17,377トン、アルミダイカストは47%減の44,234トンでした。鋳物は9ヶ月連続、ダイカストは11ヶ月連続して前年同月の実績を下回りましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が一服して需要減速に底打ち感が台頭し、前月の水準から小幅ですが改善しました。

アルミ鋳物は、主力の自動車用が55.5%減の15,581トンで9ヶ月連続のマイナス。輸送その他は33.2%減の446トンで3ヶ月連続して前年実績を下回りました。一般機械は11.6%減の526トンで20ヶ月連続のマイナス。その他は10.8%減の824トンで11ヶ月連続のマイナスでした。

アルミダイカストは、主力の自動車が47.6%減の39,126トンで11ヶ月連続のマイナス。ただ前月の水準(27,719トン)からは大きく改善しました。二輪は55.1%減の832トンで17ヶ月連続のマイナス。一般機械は25.3%減の1,861トンで9ヶ月連続、電気機械は35.4%減の900トンと16ヶ月連続して前年同月の水準を下回りました。

全分野でマイナスとなりましたが前月に比べて減少率が改善され、コロナの影響から底打ちした感があります。

### 6月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ鋳物	17,377	(46.7)
②一般機械	526	(88.4)
③輸送機械	16,027	(44.9)
④その他	824	(89.2)
⑤アルミ・ダイカスト	44,234	(53.0)
⑥一般機械	1,861	(74.7)
⑦電気機械	900	(64.6)
⑧自動車	39,126	(52.4)
⑨二輪車	832	(44.9)
⑩その他	1,515	(50.8)

## 第57回 アスカセミナー (社内セミナー)

1964年に第1回アスカセミナーを開催して以来、秋の年中行事として好評のうちに会を重ねて参りましたが、今年は残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止で社内研修セミナーとさせていただきます。

日時 11月13日(金) 10時~12時  
場所 西尾コンベンションホール  
講師 選定中

ソーシャルディスタンスをとる形式で計画中です。

## 社内情報

- ◎ご案内の通り、本年のアスカセミナーは社員向けセミナーとして開催します。何卒ご理解下さい。
- ◎ソーシャルディスタンスをとりながらの活動はなかなか厳しいものがありますが工夫を重ねます。
- ◎アスカ農園では「夏やさい」の最後の収穫です。次はいよいよ「さつまいも」の収穫期を迎えます。
- ◎本年は例年以上の味と収量が期待されます。「やきいも」は例年大好評です。

10月1日~7日

## 全国労働衛生週間

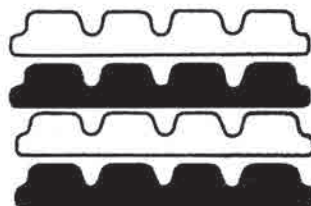
みなおして  
職場の環境  
からだの健康

## 編集後記

- 米国大統領選の行方を心配していたら、まさかの安倍首相退任。無所属菅首相の運営に期待したいところです。
- 例年10月は各所でおまつりが開催されますが、本年はほとんどが中止となりました。寂しい限りです。
- 昨年の夏は10万トン/月を超えていた合金の輸入量が今年の夏は半分以下の水準です。先の見えないコロナ禍での経済再開は難問山積みです。

## アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

## アスカ工業株式会社

〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町卯新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>